



町長▶ 中堅職員の研修を3年間実施してきた。その研修成果として、地域課題解決に向けた施策提言を昨年12月に受けた。中堅職員については一定のスキルアップが図られたことと、新任職員における基礎的な能力向上を図ることで職員全体の業務遂行能力が向上し、まちづくりに資する職員の育成が推進されることから、新任職員研修を優先して実施することとした。なお、まちづくりに関しては、プロジェクトチームを作って検討したいと考えている。

質問▶ まちづくりや町政に参加してもらえぬ人材をどのように育てていくのか。

町長▶ 段階的に町の職員で検討し、必要があれば町民の方も加わってもらうなど、プロジェクトチームで検討を進めていきたい。



驚見 悟

町民のいのちとくらしの問題について

質問▶ 今年も国保税の引き上げが行われるが、今までと同じ考えでは毎年値上げを繰り返すことにならないか。

町長▶ 今年度の値上げした増収分を見込んで赤字になる。不足分は一般会計から繰り入れる予定だ。

質問▶ この3年間毎年値上げをしている。1世帯あたりいくらぐらいになるか。

町長▶ 20万6千円位になる。

質問▶ 純農村としては、人が減る中で住民の理解を得ながら国保会計を維持していかないならない。



放牧風景

のためには、一般会計からの繰入もどうしても必要だと私は思うが。

町長▶ 私も悩んだ。基金の取り崩しと法定外繰入の決断をしなくてはならない。

質問▶ 全国的にも子育て支援を行う自治体が増えてきているが、幌延町としてはどうか。

町長▶ 幌延町としては、中学生までの医療費の無料化、今取り組んでいる認定こども園を拠点とした支援を考えている。

質問▶ 地域おこし隊についてはどう考えるのか。

町長▶ 今年は受け入れの準備と考えている。

質問▶ 近隣町村の取り組みは町長もよく知っていることと思うが、60歳を超えた人も対象にしているところもある。定住を含めてそういう隊員を募集したらどうか。

町長▶ 農業と商工関係が対象になるとは思う。

質問▶ 農業関係だけでなく、民宿を含めた宿泊施設、研修施設などは考えられないのか。

町長▶ たとえば中山間の関係で豊富町のような方式も考えられるが、取りあえず幌延では農業関係については、コントラ事業とTMRセンターに取り組んで行き

たい。

質問▶ 空き家の有効利用などはどうか。

町長▶ ほかの町村に比較すると空き家は少ない。今後調査をして行きたい。

原子力機構の動向について

質問▶ 地下350mまでの工事がほぼ完了するが、実際に仕事が無くなった人は何人いるのか。

町長▶ 具体的には掌握していない。

質問▶ 12月議会の時には40名くらいと述べていたが。

町長▶ 全体でとらえて、地元企業からの派遣を含めた数字。

質問▶ 12月議会では、「文献調査の申し入れが来たら私は受け入れるつもりはない」と言っていて、「町民に周知する」と述べている。この意味はなにか。

町長▶ 議会に報告するし、町民にも報告するという意味。